

肥瘦と右手気口脈の関係 から見た 妊娠の脈状と予後の考察

吉岡広記 山田恵美
吉岡鍼灸院

一般社団法人日本東洋医学会 利益相反（COI）開示

吉岡広記

演題発表に関連し、開示すべき利益相反（COI）
関係にある企業などはありません。

目的

- ▶ 妊娠における脈診（人迎気口診）の意義の考察
- ▶ 肥瘦と気口脈の関係から伺える予後

対象 妊婦 8名

▶ 気口脈浮

① 28歳瘦人、② 33歳瘦人、③ 38歳肥人

* 山田報告症例

▶ 気口脈沈

④ 25歳瘦人、⑤ 39歳肥人、⑥ 38歳肥人

* 山田報告症例

⑦ 32歳瘦人、⑧ 35歳肥人

* ①～⑧は、抄録の序列に従って付したものである。

結果

予後	脈状	妊婦	結果
良	沈滑	④瘦、⑤肥	自然分娩
	浮滑	①瘦〔沈む〕	自然分娩
不調	沈濇	⑤肥	つわりが重い日
不良	沈濇	⑥肥	臍帯下垂 + 帝王切開
		⑦瘦	出産予定日を過ぎる
		⑧肥	逆子 + 帝王切開
	浮濇	②瘦〔沈まず〕	帝王切開 + 早産
		③肥〔沈まず〕	早期流産

考察 1 妊娠初期～36週頃の気口脈

予後良 = 沈滑 予後不良 = 浮瀼

- 肥瘦に関わらず沈滑がよい
- 浮脈を呈する場合でも、治療後に沈脈となれば比較的予後はよい（滑であればなおよい）

予後	脈状	妊婦	結果
良	沈滑	④瘦、⑤肥	自然分娩
	浮滑	①瘦〔沈む〕	自然分娩

考察 1 妊娠初期～36週頃の気口脈

予後良 = 沈滑 予後不良 = 浮瀼

- ・ 治療後も沈脈とならない時は、要注意
- ・ 肥人の浮脈は逆證であり、予後不良

予後	脈状	妊婦	結果
不良	沈滑	⑥肥	臍帯下垂 + 帝王切開
		⑦瘦	出産予定日を過ぎる
		⑧肥	逆子 + 帝王切開
	浮瀼	②瘦〔沈まず〕	帝王切開 + 早産
		③肥〔沈まず〕	早期流産

考察 2 気口脈における滑濇の意義

濇脈は少血を示すため、何らかの問題が生じている、または生じる可能性があると考えべき

予後	脈状	妊婦	結果
不調	沈濇	⑤肥	つわりが重い日
不良	沈濇	⑥肥	臍帯下垂 + 帝王切開
		⑦瘦	出産予定日を過ぎる
		⑧肥	逆子 + 帝王切開
	浮濇	②瘦〔沈まず〕	帝王切開 + 早産
		③肥〔沈まず〕	早期流産

考察 2 気口脈における滑濇の意義

ただし、3 7 週以降は出産のために浮濇がよい

浮脈 = 陰虚 (腎虚) 濇脈 = 少血

予後	脈状	妊婦	結果
不良	沈濇	⑦瘦	出産予定日を過ぎる
		⑧肥	逆子 + 帝王切開
	浮濇	②瘦 [沈まず]	帝王切開 + 早産
		③肥 [沈まず]	早期流産

⑦は、治療後に気口脈が浮脈となる。

2 日後、陣痛促進剤投与して 3 時間足らずで出産。

結語

肥瘦と浮沈滑濇を関係づけ

治療前後の脈状変化を合わせ診ることで

一定の予後判定が可能となることが

示唆された

*本スライドは、吉岡鍼灸院HPにて公開する。

補足1

気口脈浮 ① 28歳瘦人

日頃	虚劳寒湿の順 $\underline{k} > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>浮濇</u> > 人迎沈滑)
妊娠初期	脈證は日頃に同じ * 治療後は必ず気口脈が沈む
その後	虚劳寒湿のやや逆 $\underline{k} > \bar{J}$ 遅 * 安定 (気口 <u>浮滑</u> > 人迎沈滑)
結果	自然分娩

補足2

気口脈浮 ② 3 3 歳瘦人

日頃	虚劳寒湿の順 $k > \bar{d}$ 遅 (気口 <u>浮濇</u> > 人迎沈滑)
妊娠初期	脈證は日頃に同じ * 治療後に <u>気口脈は沈まず</u> (平時は沈む)
その後	脈證は変化せず → 2 4 週より右下肢の強いしびれと痛みを発症
結果	帝王切開 → 3 6 週 2 日で胎児にチョコレート嚢胞を蹴破られ、3 日後に

補足3

気口脈浮 ③ 38歳肥人その1

日頃	気虚寒湿のやや逆 $\tilde{K} > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>沈</u> 濇 > 人迎沈滑)
妊娠初期	月経予定日より虚劳寒湿の順 $\tilde{K} > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>浮</u> 濇 > 人迎沈滑) * 治療後に <u>気口脈は沈まず</u>
結果	稽留流産 (9週目)

※山田報告症例

補足4

気口脈浮

③ 38歳肥人その2

日頃	出産後より虚劳寒湿の順 $K > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>浮濇</u> > 人迎沈滑)
妊娠初期	月経予定日より虚劳虚寒の逆 $K > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>浮濇</u> > 人迎 <u>浮濇</u>) * 治療後に <u>気口脈は沈まず</u>
結果	早期流産 (6週目)

※山田報告症例

補足5

気口脈沈 ④ 25歳瘦人

日頃	虚劳寒湿の順 $\underline{k} > \bar{d}$ 遅 (気口 <u>浮濇</u> > 人迎沈滑)
妊娠初期	気虚寒湿の順 $\bar{k} > \bar{d}$ 遅 (気口 <u>沈滑</u> > 人迎沈滑)
その後	安定
結果	自然分娩

補足6

気口脈沈 ⑤ 39歳肥人

日頃	気虚寒湿の順 $\bar{K} > \bar{J}$ 遅 (気口沈滑 > 人迎沈滑)
妊娠初期	脈證は日頃に同じ
その後	つわりが重い日 → 気虚寒湿のやや逆 $\tilde{K} > \tilde{J}$ → 逆 (気口人迎ともに濇) $\hat{K} > \hat{J}$
結果	自然分娩

補足7

気口脈沈 ⑥ 38歳肥人

日頃	気虚寒湿のやや逆 $\tilde{K} > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>沈</u> 濇 > 人迎沈滑)
妊娠初期	月経予定日より虚劳寒湿の順 $\tilde{K} > \bar{J}$ 遅 (気口 <u>浮</u> 濇 > 人迎沈滑) * 治療後に <u>気口脈は沈濇となる</u>
その後	6週目より気虚寒湿のやや逆 (日頃 に同じ)
結果	37週目に帝王切開

※山田報告症例

補足8

気口脈沈 ⑦ 3 2 歳瘦人

日頃	気虚寒湿のやや逆 $\tilde{K} > \text{丁}$ 遅 (気口沈濇 > 人迎沈滑)
妊娠初期	脈證は日頃に同じ
その後	出産予定日を9日過ぎて再来院 脈證は妊娠初期と同じ 治療後に虚劳寒湿の順となる 翌日も虚劳 (気口脈浮濇) であった
結果	翌々日に陣痛促進剤投与 3時間で出産

補足9

気口脈沈 ⑧ 3 5歳肥人

来院時	気虚寒湿のやや逆 $\tilde{k} > \bar{j}$ 遅 (気口 <u>沈濇</u> > 人迎沈滑)
妊娠周期	3 7 週
症状	逆子
治療	5回の治療でも気口脈は浮かず
結果	帝王切開